



本資料の構成概要



I. Corporate Profile

- 1. 企業理念
- 2. ミッション・ビジョン・企業理念
- 3. 事業コンセプト
- 4. 成長の軌跡
- 5. 主要サービス
- 6. サービスの特徴
- 7. 事業系統図
- 8. 事業ポートフォリオ
- 9. 主要KPI

II. Corporate Highlights

- 1. データマイニングをバックボーンとした高付加価値サービス
- 2. クラウド化を追い風とする対象市場の拡大
- 3. 人事領域で新市場を創造するタレントパレットの高い成長可能性
- 4.各事業の成長戦略と新市場・サービス開発に向けた展開

III. Risk and Controls

主なリスクおよび対応策

IV. Appendix

- 1. 見える化エンジンの特徴
- 2. カスタマーリングスの特徴
- 3. タレントパレットの特徴



I. Corporate Profile



会社概要



- 代会社名 株式会社プラスアルファ・コンサルティング(東証マザーズ:4071)
- 代表者 代表取締役社長 三室 克哉
- 本社所在地 東京都港区浜松町1-18-16 住友浜松町ビル
- 大阪支社 大阪府大阪市北区中之島2-2-2 大阪中之島ビル13F
- 福岡支社 福岡県福岡市中央区薬院3-3-33 グランドキャビン天神南4F
- 設立 2006年(平成18年)12月25日
- 資本金 63,475千円 (2021年6月末現在)
- 事業内容 データ分析プラットフォームのクラウドサービスの提供
- 従業員数 187名(2021年9月末現在)
- URL https://www.pa-consul.co.jp/

ミッション・ビジョン・企業理念



Mission

お客様のビジネスに 一〇〇 の価値を創造します。



世の中にあふれる膨大な文章、数値、画像、音声等の情報を「見える化」し、 お客様のビジネスに役立つ「気付き」を提供することで、 お客様に+a(プラスアルファ)の価値を創造します。

Vision

見える化プラットフォーム企業を目指します。

あらゆる分野でデジタル化が進み情報量が爆発的な増加を続ける中 人が持つ創造力や生産性を向上させるソリューションを提案し、お客様、 社員、パートナーと共に様々な業界の仕組みを変革するプラットフォーム 企業を目指します。

企業理念

- 私たちは、プラスアルファの価値を生み出すことで、「つきぬ ける感動」と「広がる可能性」を提供します。
- 私たちは、互いに「勇気」「情熱」「思いやり」、そして、 「地道な努力」を大切にします。
- 私たちが優先するのは、強みが活かせ、自らが成長し、社会に 貢献できる仕事であり、常に「ポジティブな姿勢」でやり遂げ ます。

事業コンセプト ~ビッグデータを可視化するプラットフォーム~



情報量の爆発的な増加 = ビッグデータ化 あらゆるシーンでの情報のデジタル化

> 顧客情報 お客様の声

商品情報 購買履歴

SNS・ツイッター ソーシャルメディア

ECアクセスログ IoT・ライフログ 特許・論文 知的資産

人事・勤怠情報 面談記録

膨大な情報を テクノロジーで 「見える化し

テキストマイニング データマイニング 自然言語処理 AI・機械学習

コンサルティング 業務知識

様々な分野でサービス展開

マーケティング領域

お客様の声(ニーズ)の見える化



🧊 見える化エンジン

CRM領域

顧客の情報と行動の見える化



CustomerRings

カスタマーリングス

HR・人事領域

人事情報・社員の見える化



成長の軌跡



業務特化型のプロダクトを数年間隔で投入することで業容を拡大 サブスクリプション・モデルにより安定収入を確立しつつ、新事業へ投資することで成長を加速



主要サービス 〜複数領域で全て黒字のSaaS型事業を展開〜



マーケティング・ソリューション



テキストマイニングでコールログやツイッター等の顧客の声データを分析活用

分析対象データ量に応じた月額課金

CRMソリューション



購買履歴やWEBアクセスログ等 で顧客を分析・マーケティング 施策の自動化

顧客数やメール配信数に応じた月額課金

HRソリューション



社員情報を分析して、人材育成、 最適配置など人事施策に活用

社員数に応じた月額課金

サブスク・プロダクト

サービスを支える技術やノウハウ

言語処理 技術 可視化マイニング 技術

大量データ解析 ノウハウ

業界・業務知識

活用支援 コンサルティング

サービスの特徴

※各サービスの詳細な特徴は、IV. Appendix に記載しておりますのでご参照ください。



		•	
	見える化プラットフォーム	マーケティング・オートメーションツール	人材活用プラットフォーム
	見える化エンジン	CustomerRings カスタマーリングス	Talent Palette タレントパレット
サービス概要	アンケート、コールログ、SNSなど、大量の 顧客の声をテキストマイニングにより分析	顧客の属性や行動履歴のデータを統合し、そ の分析結果をもとにした顧客との最適コミュ ニケーションを支援	社員のスキル、適性、評価、アンケート、採 用などの人事情報を見える化し、社員活用に 活用
ユーザーと 利用シーン	主に企業のコンタクトセンターやマーケティング部門において導入 顧客のサービス改善や新商品の開発などで活用	主にEC事業者(アパレル/健康食品/化粧品 /雑貨など)や小売業など企業で導入 オンライン・マーケティング施策の企画やそ の運用	主に人事部門で利用 人材活用による社員パフォーマンス向上に取 り組む人事企画・戦略に活用
主な特徴	幅広いデータソースに対応するほか、自然言語解析技術による高い分析精度、直感的に操作できるインターフェースなどが評価され、テキストマイニング・ツールの分野でトップシェア	直感的に操作できるインターフェース、顧客1 人ひとりの行動を分析・可視化できる多様な 機能、メール・SMS・チャット・アプリなど マルチ・チャネルへの対応	社員情報、評価、スキルなどのデータベース 化に加え、社員の最適配置や人材抜擢、離職 者の分析・予測、採用マッチング効率向上な どを支援する機能
料金体系	月額料金:データ量等による月額料金プラン 初期料金:導入時環境構築等 スポット料金:有償コンサル等	月額料金:会員数・配信数等による月額料金 プラン 初期料金:導入時環境構築等 スポット料金:有償コンサル等	月額料金:従業員数等による月額料金プラン 初期料金:導入時環境構築等 スポット料金:有償コンサル等
契約件数 ¹	契約件数(451社)	契約件数(297社)	契約件数(700社)

継続収入率 (94.8%)

(注1) 契約件数は2021年9月末時点

継続収入率 (88.7%)

(注2) 売上高に占める月額料金の比率 (2021年9月期第4四半期の平均

継続収入率 (78.4%)

事業系統図



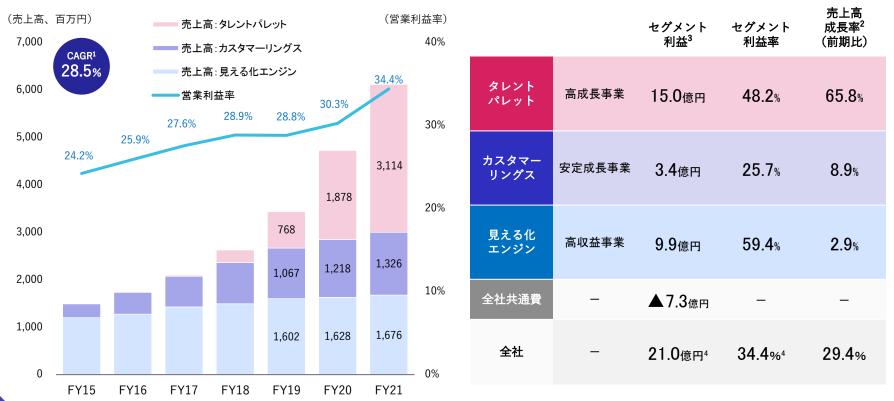
導入企業は利用(使用データ範囲、会員数・配信数等、従業員数等)に合わせてサービスプランを契約。 プランに応じた固定の月額料金を支払うサービスを提供



事業ポートフォリオ ~収益性と成長性を同時に実現~



高収益の安定事業から高成長事業まで、成長ステージの異なる3つの事業を運営 製品ライフサイクルの影響を受けず、長期間に渡り高い成長率と収益率を同時に実現



注1:2016年9月期から2021年9月期までの売上高の年率平均成長率 注2:2020年9月期から2021年9月期の売上高の増加率

注3:2021年9月期における各セグメントの営業利益額(共通費控除前) 注4:2021年9月期における当社全体の営業利益および営業利益率(共通費控除後)

主要KPI ~高付加価値サブスクリプション・モデルを確立~



高加価値なサービスで高いARPUを実現しつつ、高いリカーリング比率と低い解約率を同時に実現

	$\overline{}$	$\overline{}$
1,77		

全社 489百万円

■見える化エンジン 130_{百万円}

■カスタマーリングス 107_{百万円}

■タレントパレット 252_{百万円}

契約社数4

全社 1,448社

■見える化エンジン 451_社

■カスタマーリングス **297**社

■タレントパレット **700**社

MRR成長率2

全社 32.1%

■見える化エンジン
3.4%

■カスタマーリングス **4.5**%

■タレントパレット **77.3**%

リカーリング比率5

全社 84.3%

■見える化エンジン 88.7_%

■カスタマーリングス **94.8**%

■タレントパレット 78.4%

月次平均解約率3

全社 0.7%

■見える化エンジン 0.9%

■カスタマーリングス 1.0%

■タレントパレット 0.4%

ARPU⁶

全社 339 千円

■見える化エンジン 287_{千円}

■カスタマーリングス 367_{千円}

■タレントパレット 363_{千円}

注1: Monthly Recurring Revenue。2021年9月における継続課金ユーザー企業に係る 月額料金額の合計額(一時収益を含まない)

注2:2020年9月から2021年9月のMRRの増加率

注3: 既存契約の月額課金額のうち解約に伴い減少した月額課金額の割合(2021年9月までの過去12か月の平均値)当該割合は、各月について解約に伴い減少した月額課金額を前月の月額課金額の合計で除して算出

注4:2021年9月期末における月額課金契約数

注5:2021年9月期第4四半期の月額課金額の合計額を同期間の売上高で除した値

注6: Average Revenue Per User。2021年9月期第4四半期における一ヵ月あたりの 平均MRRを同期間における一ヵ月当たりの平均課金ユーザー企業数で除して算出。 全社の値は同期間における一ヵ月あたりの3事業部の平均合計MRRを全事業部合計 顧客数の期間における一ヵ月当たりの平均社数で除して算出

20%

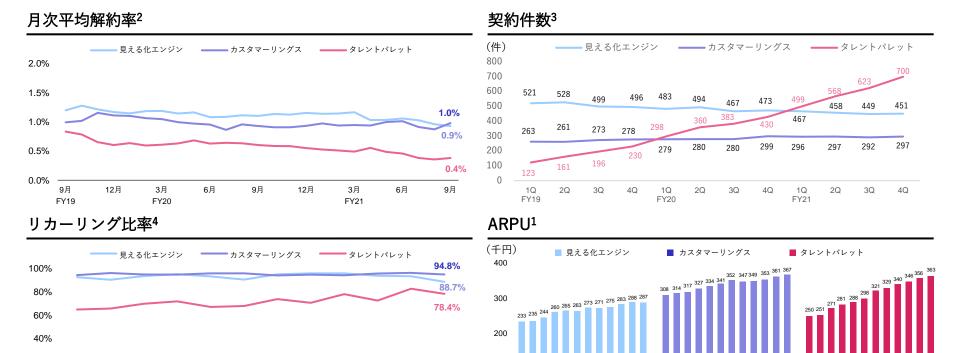
1Q

FY19

2Q

主要KPI ~高付加価値サブスクリプション・モデルを確立~





コロナ禍の影響で観光、旅行、レジャーなどの一部業界の顧客から解約や値引き要請等若干発生したものの全体に占める割合は小さく影響は限定的。コロナ禍以前と変わらず、顧客数の増加と低解約率を継続

100

0

1Q 2Q 3Q 4Q 1Q 2Q 3Q 4Q 1Q 2Q 3Q 4Q

1Q 2Q 3Q 4Q 1Q 2Q 3Q 4Q 1Q 2Q 3Q 4Q

3Q

4Q

4Q

注4: 売上高に占める月額課金額の割合の各四半期の平均

1Q

FY20

2Q

3Q

4Q

1Q

FY21

2Q

3Q

注1: Average Revenue Per User。1課金ユーザー企業当たり平均月額単価。各四半期における一か月あたりの課金ユーザー企業に係る月額料金額の合計金額の月平均を、同期間における一か月あたりの平均有課金ユーザー企業ができた。

一正耒奴で味して昇山

注2: 既存契約の月額課金額のうち解約に伴い減少した月額課金額の割合の直近12ヵ月平均。当該割合は、各月について解約に伴い減少した月額課金額を前月の月額課金額の合計で除して算出。

注3:各四半期における最終月末の契約件数



II. Corporate Highlights



コーポレート・ハイライト



- 1 データマイニングをバックボーンとした 高付加価値サービス
- 2 クラウド化を追い風とする対象市場の拡大
- 3 人事領域で新市場を創造するタレントパレットの高い成長可能性
- 4 各事業の成長戦略と新市場・サービス開発に向けた展開

1 データマイニングをバックボーンとした高付加価値サービス

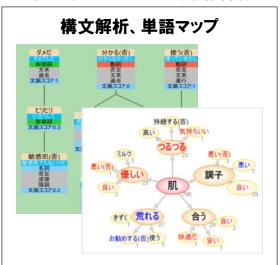


ビッグデータを可視化する高い技術力

自然言語処理、テキストマイニングなどの独自技術をアプリケーションに実装し、ビジネスの現場で役に立つ顧客業務を支援する アプリケーションとして提供

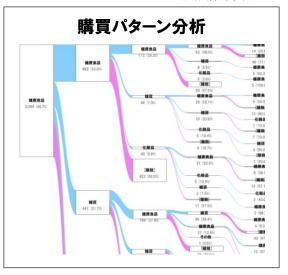


見える化エンジンにおける技術活用事例





カスタマーリングスにおける技術活用事例



Talent Palette

タレントパレットにおける技術活用事例



構文解析で日本語の文章を解析。 主語・述語の関係やポジティブ・ネガティ ブ反響などを単語マップで表現し、 顧客の声を一目で把握

商品購買データ等から 購買パターン分析により顧客行動を可視化 し、優良顧客へ育った経路等を把握 サンクスポイント等の社員間の 連携データを社員間ネットワーク図で表現 し、社員や部署間のコミュニケーション量 や質を把握

独自のテキストマイニング技術による高い解析精度

自社技術により開発した自然言語処理エンジン(Waters)を全てのソリューションへ組み込むことで他社が容易に実現できない解 析の精度・スピードによる分析機能を提供

[Watersの特徴]

①解析精度の高さ

- ・形態素・構文解析エンジンの商用 サービスの先駆け
- ・長期にわたって民間や研究機関な ど、多くの顧客からの要望・要求 をサービスに反映

2解析スピードの速さ

- 類似サービス比較でトップレベル の解析処理スピード
- データ量がボトルネックとならな いビッグデータ時代に対応した技

③辞書メンテナンス

- 頻繁な辞書アップデート
- ・経年による言葉や口語表現の変化 に継続的に対応してきたノウハウ の蓄積

高い解析精度を生み出す仕組み



経年による言葉の変化

ビッグデータ Twitter ロコミ・ブログ 音声データ

ネット用語 くだけた表現 若者言葉 新口語 人名、固有名詞

検知 収集

情報技術・イノベーションセンター (自然言語解析チーム)



- ・頻繁な辞書アップデート
- ・解析ルールのチューニング

Watersの

精度維持

・顧客要望の反映

環境変化への対応

- ・独自辞書
- ・形態素解析ルール
- ・構文解析ルール

ユーザー企業



サービス利用価値の上昇

- ・最近の表現や用語、固有名詞をカバー
- ・細かいニュアンスのくみ取りが可能
- ・分析や解析の精度が上昇

● 新口語、ネット用語への対応事例 原文: おいしくない? → おいしい

[形容詞] として認識



? 句読点

 解析精度向上事例 原文: A商品しか飲まない

×飲む[動詞](+否定) → ○飲む [動詞](+肯定)

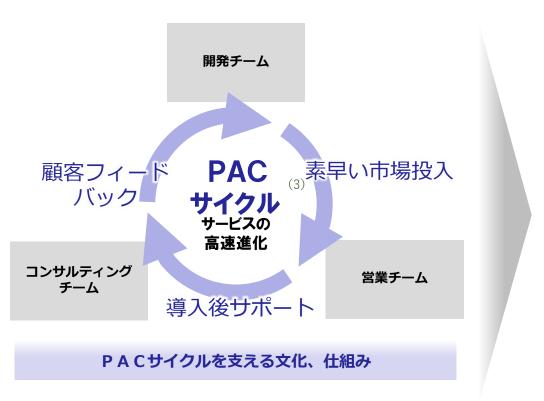
[肯定文] として認識





高付加価値サブスクリプションを実現する高速進化サイクル

開発チームが生み出した機能を営業チームが素早く即時に市場投入し、導入企業へのサポート・コンサルティングで得た新たなニーズや要望を開発チームへ即時にフィードバックするなど、チームを超えた連携で開発プロセスを高速に進める仕組みを構築



PACサイクルにより実現 機能の高速進化による 差別化 高付加価値化による ARPU (1)向上 分析サポートによる 解約防止・LTV (2) 向上

_{顧客との対等な} パ[°]ートナー関係

新機能、新事業の早期市場投入

(注1) ARPU:「Average Revenue Per User」の略。月額収入の総額を顧客数で除して算出。

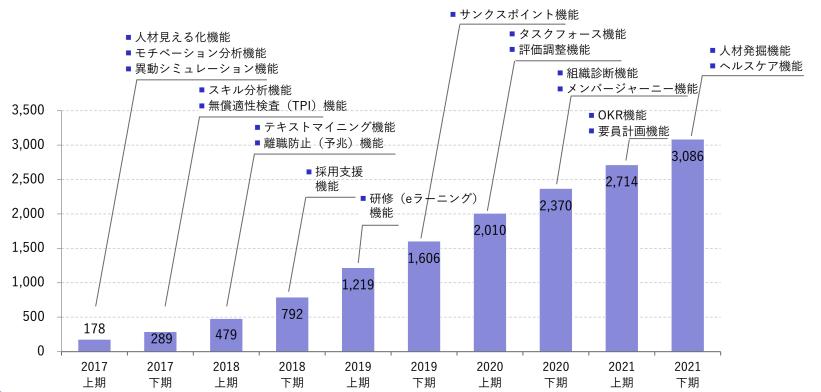
- (注2) LTV: 「Life Time Value」の略。
- (注3) PACサイクル「Plus Alpha Consulting サイクル」の略称

プラスアルファ コンサルティング

PACサイクルで実現する機能開発スピード

約5年間で50回のバージョンアップにより、実装された機能数は3,000件超 (平均で1営業日2機能以上のペース)

バージョンアップ機能数(累積)

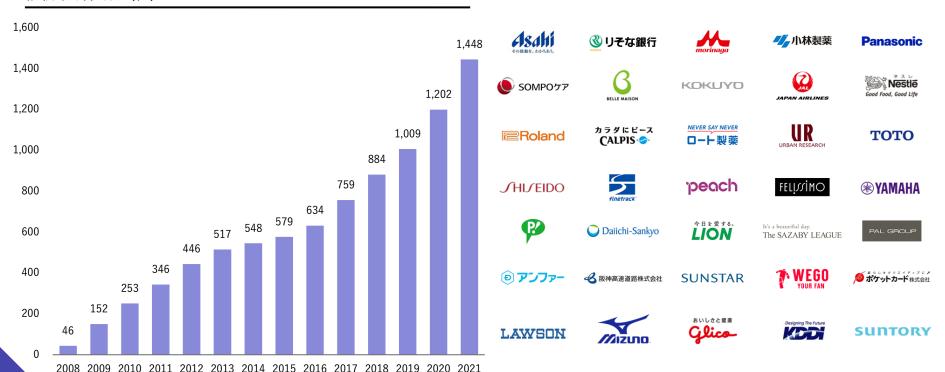




PACサイクルを支える優良な顧客資産

大企業だけでなく中小規模の企業まで、幅広い業種・業界の顧客層から支持 各業界をリードする企業の潜在需要やニーズを把握し、クロスセルによる新事業の高速立上げを実現

継続取引社数(社)1



注1:各9月期末における月額課金の契約数

コーポレート・ハイライト



1 データマイニングをバックボーンとした高付加価値サービス

2 クラウド化を追い風とする対象市場の拡大

- 3 人事領域で新市場を創造するタレントパレットの高い成長可能性
- 4 各事業の成長戦略と新市場・サービス開発に向けた展開

2 クラウド化を追い風とする対象市場の拡大



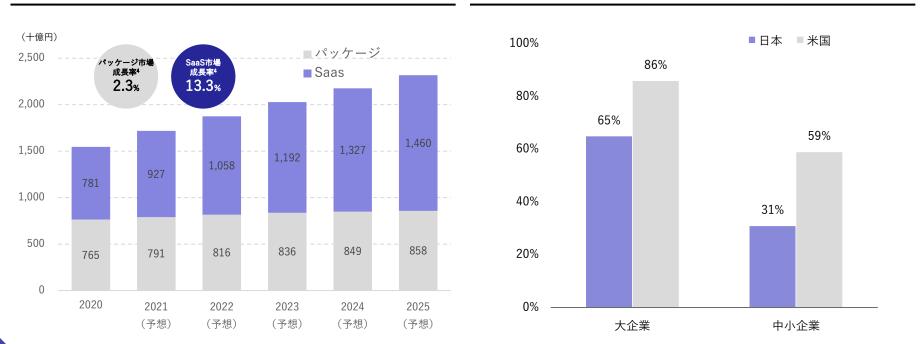
国内SaaS市場¹は1兆円規模へ

デジタル化、働き方改革、人手不足などへの対応のため、自動化/効率化につながるソフトウェアへの需要が高まり、大手企業か ら中小企業まで導入が進んでいる。

特に当社が手掛けるSaaS型サービスが成長を牽引しており、市場に占める割合は上昇傾向にある。

国内ソフトウェアの市場規模推移2

日米のSaaS利用率3



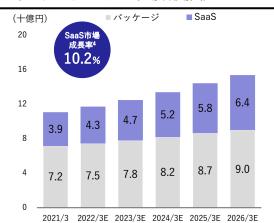
のでミドルウェアやインフラ領域におけるPaaS(Platform as a Service)も含む。導入時の初期費用および利用時の費用(月額費用など)が対象

注3:総務省「我が国のICTの現状に関する調査研究」(2018年3月)

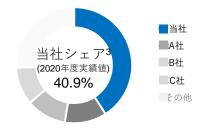
注4:2020年~2025年までのCAGR

5年で2倍に拡大1する当社事業領域2

テキストマイニングの市場規模推移3



■ 見える化エンジン

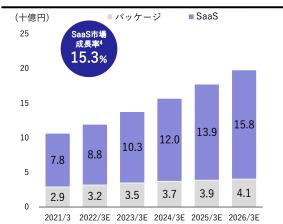


[差別化要素]

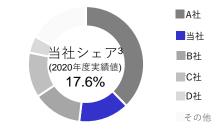
- ・独自の自然言語処理と構文解析による高い解析精度
- ・対応データソースの広さと分析機能の豊富さ
- ・コンサルタントによるサポートによる導入企業の活用度上昇

注4:2020年度~2025年度までの平均年率売上高増加率

マーケティング、プ。ラットフォームの市場規模推移3



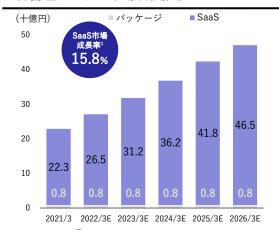




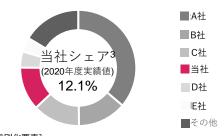
[差別化要素]

- 幅広い施策を実現する機能充実と操作性の高い分析機能
- ・細かい顧客コミュニケーション設計ができる設定の自由度
- ・業務コンサルティングと技術サポートを両面で提供する体制

人材管理ソフトの市場規模推移3







[差別化要素]

- -・人材管理の領域へのマーケティング思考による機能の充実
- ・機能面での活用領域の広さと多様な切り口での分析実現
- ・コンサルタントによる活用支援、分析支援

注1:富士キメラ総研「ソフトウェアビジネス新市場2021年版」に掲載された2026年度の各市場規模(予想)と2020年度の各市場規模の比較。なお当該レポートにおける年度末は3月末である 注2:当社が想定する最大の市場規模を意味しており、当社が2021年8月現在で営む事業に係る客観的な市場規模を示す目的で算出されるものではありません。 記の通り、外部の調査資料を参照して当社が推計したものであり、その正確性にはかかる調査資料や推計に固有の限界があるため、実際の市場規模はかかる推計値と異なる可能性があります 注3:富士キメラ総研「ソフトウェアビジネス新市場2021年版」。なお当該レポートにおける年度末は3月末である



コーポレート・ハイライト



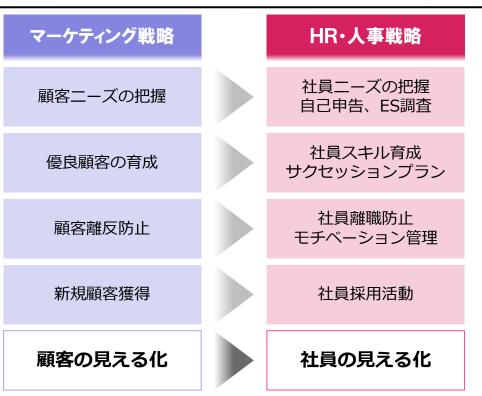
- 1 データマイニングをバックボーンとした高付加価値サービス
- 2 クラウド化を追い風とする対象市場の拡大
- 3 人事領域で新市場を創造するタレントパレットの高 い成長可能性
- 4 各事業の成長戦略と新市場・サービス開発に向けた展開



日本特有の人事業界に「科学的人事」を武器に参入

マーケティング業界で培った顧客の声の活用や顧客分析のノウハウを人事の領域へ適用データの活用で勘や経験に頼った人事戦略から脱却し、意思決定の精度を向上

マーケティング分析の企業ならではのノウハウ活用



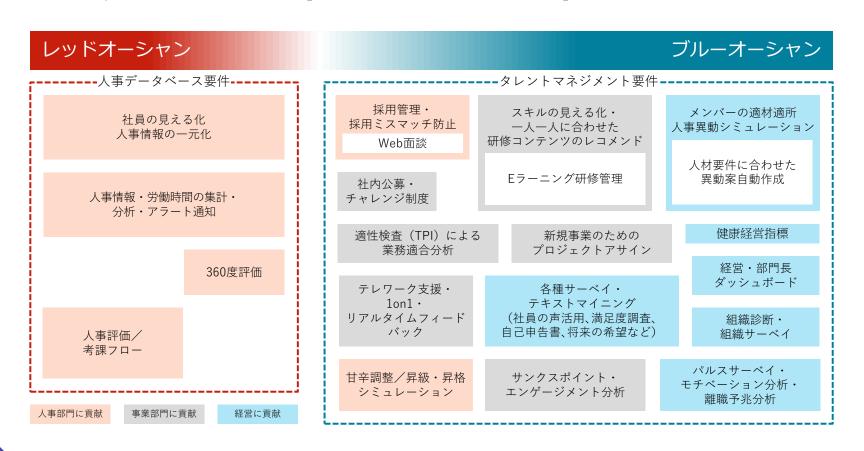


顧客を社員に置き換え、様々な分析手法を人事戦略に活用して人事の世界を変革



経営層・事業部門・人事における幅広い活用可能性

人事部門だけでなく、経営層や事業部門で活用される様々な機能を実装 多くのHRテック企業が狙う「人事データベース」ではなく「タレントマネジメント」の領域がターゲット



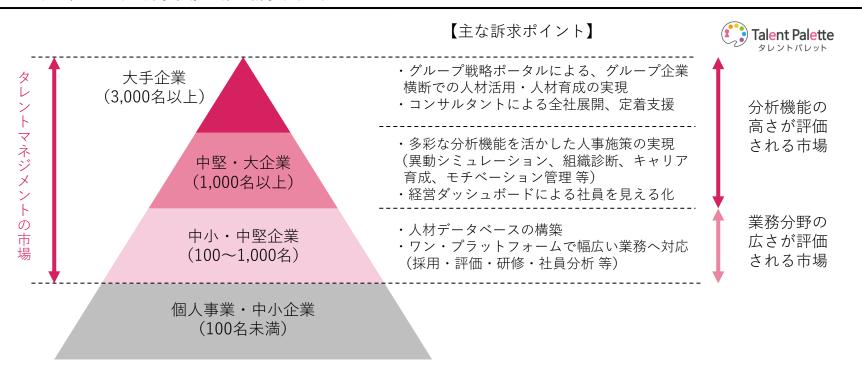
Talent Palette タレントパレット



タレントパレットのターゲット市場

タレントマネジメントは従業員数100名以上の市場がターゲット。 従業員規模により市場特性が異なるため、市場に合わせた訴求ポイントによりアプローチ。

タレントマネジメントの対象市場と当社の訴求ポイント



統合型人材プラットフォームとして独自のポジション

人事データの統合・蓄積による幅広い業務分野への対応と分析機能の充実により差別化

■ 当社サービスからみた競合状況¹

得意分野

分析 ▮

当社のポジション

~幅広いデータを多様な切り口で分析~

統合型人材活用プラットフォーム

分析に強い人事情報管理ツール

- ■人事情報管理がメイン
- ■定型的な分析機能を有する
- ■主なターゲットは人事部門

【競合状況】

✓対象市場が小さいため参入者が少なく競合ケースは限られる。 ✓競合の場合も多機能を訴求することで対抗可能。

- ■人事情報に加え、勤怠データ、適性検査、社員の声、モ チベーション(動的データ)、採用データなど、統合的 に分析・活用できるツール
- ■UIに優れ、経営や事業部長クラスでも活用できる

狭い

特定業務の効率化に特化したツール

- ■評価のWeb化や人事情報DB化等の業務効率化に特化
- ■単一機能のため、安価なツールが多く、導入しやすい

【競合状況】

- ✔新規参入が多く各社が低価格を訴求。価格競争が激しい。
- ✓人事データー元化や評価Web化など初歩的な機能を提供。
- ✓機能や簡易分析機能を徐々に追加しており、表面上のコンセプ トで当社との重なりも出ている。

基幹系統合人事システム

- ■人事情報、勤怠・給与・評価など扱える情報が多い
- ■管理系機能に特化。大手企業の基幹系システムとして採

- ✓基幹システムとして全社やグループで基幹系システムとして導 入されているケースが多くリプレースは難しい。
- ✓価格面、機能面での優位性はあるため、データ連携などの対応 で共存できるケースも多い。

対応領域

業界を代表する企業による多数の導入実績



メーカー(生活関連・部品・化学・医薬・住宅・その他)

















































Kac







金融(銀行・生損保・カード・リース)

MS&AD

あいおいニッセイ同和損保様

社員一人ひとりがチャレンジ意欲

旺盛で成長を実感できる

人財基盤の構築



横浜銀行 あいおいニッセイ同和損保

横浜銀行様 一人ひとりの挑戦・成長を 後押しするため、 スキルや経験を可視化し 育成や登用に活かしていく













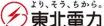








サービス(公共インフラ・交通・医療・福祉・その他)























流通・小売・外食・不動産・サービス・物流

















🥏 クラフト株式会社





OPEN

HOUSE



















IT・システム開発・通信業界

NTT Data @株式会社 日立社会情報サービス ぐるなど Trusted Global Innovator





























広告・マスコミ・調査・人材・教育

























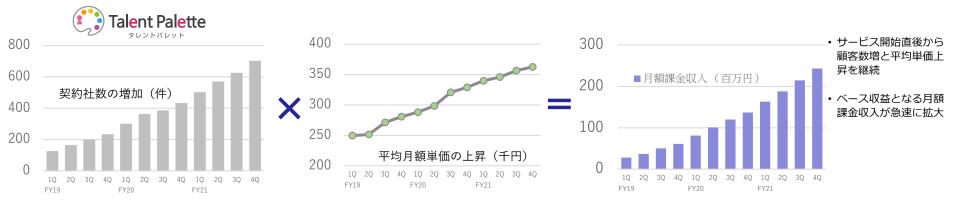








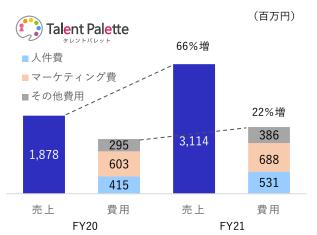
短期間で事業を立ち上げ、利益拡大ステージへ



蓄積した技術やノウハウを活用し新規 事業を立ち上げ



過度な社員増やマーケティング投資に依存せず、 事業を垂直に立ち上げ、早期黒字化を実現



今後も投資を適正にコントロールし、 売上と利益の成長を同時に実現する方針



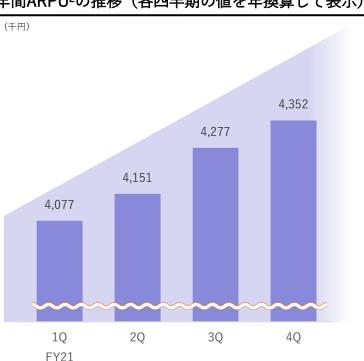
(\$)



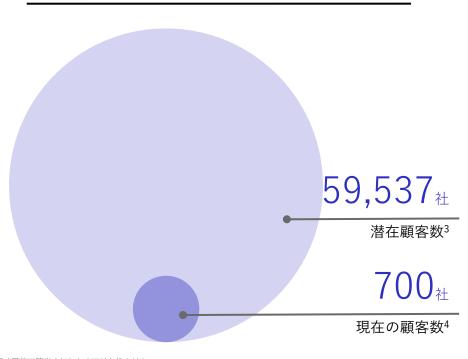
将来の伸びしろが大きい市場ポテンシャル1

経営層・事業部門向けのタレントマネジメント領域は未だホワイトスペース 人材活用(タレントマネジメント)の概念が浸透することで、導入企業が増え潜在需要が顕在化

年間ARPU²の推移(各四半期の値を年換算して表示)



顧客数の拡大余地



注1:当社が想定する最大の市場規模を意味しており、当社が2021年1月現在で営む事業に係る客観的な市場規模を示す目的で算出されたものではありません。

下記各注記の通り、一定の前提の下、外部の統計資料や公表資料を基礎として、当社が推計したものであり、その正確性にはかかる統計資料や推計に固有の限界があるため、実際の市場規模はかかる推計値と異なる可能性があります。 注2: Average Revenue Per User。1課金ユーザー企業当たりの平均年間単価。各四半期における課金ユーザー企業に係る月額料金額の合計金額(一時収益を含まない)を同期間における一か月あたりの平均有料課金ユーザー企業数で除し、 4倍して算出。

注3: H28経済活動センサスより。従業員数100名以上の企業数

注4: FY21第2四半期末における月額課金契約社数

51

コーポレート・ハイライト



- 1 データマイニングをバックボーンとした高付加価値サービス
- 2 クラウド化を追い風とする対象市場の拡大
- 3 人事領域で新市場を創造するタレントパレットの高い成長可能性
- 4 各事業の成長戦略と 新市場・サービス開発に向けた展開

プラスアルファ コンサルティング

全社戦略の重点方針

- 1 タレントパレット事業の成長加速とHR分野での新サービス展開
- 2 ビッグデータと分析テクノロジーのプラットフォーム戦略
- 3 コンサルティングカ強化による高付加価値化と大型案件創出
- 4 AI・テキストマイニング、技術力強化による機能差別化
- 5 顧客維持、サービス継続進化の高付加価値サブスクモデルの洗練化
- 6 ビッグデータの見える化と創造力の創出を軸とした新規事業の創出
- 7 経営基盤整備とブランディング、社会貢献による継続成長可能な組織構築

見える化エンジン

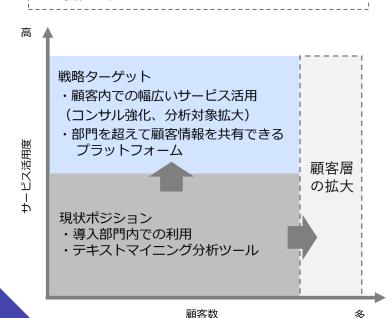


見える化エンジン事業の成長戦略

顧客体験価値を可視化するプラットフォーム機能の充実とコンサルティング強化により、顧客内でのサービス活用度・満足度の向 上施策を優先しながら顧客層拡大を図る。

戦略コンセプト: 顧客体験フィードバック

企業が顧客に提供したい「顧客体験」と実際の顧客の 感じ方のギャップを可視化・分析できるソリューショ ンを提供する。



主な戦略施策

- 顧客内でのサービスの浸透・活用 (契約単価上昇)
- ・コンサル強化による顧客の課題把握 と活用支援 (FY22)
- 分析対象データの拡大 (契約単価上昇)
- ・分析対象となるデータ種類の拡大 (FY22-23)

主要KPIの見込み	FY21 実績	FY22 計画	FY23-24 見込み
顧客数 ¹ (件)	451	467	やや増加
契約単価2 (千円)	283	297	上昇を継続
解約率 ³ (%)	0.9	1.3	 低水準を継続

- プラットフォーム機能の強化 (継続率 上昇)
- ・部門横断利用のためのインフラ機能 拡充 (FY21)
- ・可視化機能の充実、AI/マイニング 技術の技術開発 (FY22-23)
- マーケティング施策改善 (顧客数増)
- ・広告・販促手法の見直しによるブラ ンディング強化 (FY22-24)

カスタマーリングス事業の成長戦略

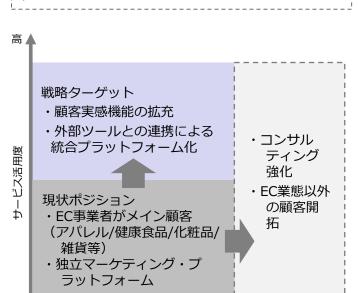




高機能路線は維持しつつ、「顧客実感」による差別化機能の拡充を図り、様々なマーケティング・アクションとの連携実現によるマーケティング・プラットフォームへの進化を目指す。

戦略コンセプト: 顧客実感マーケティング

顧客を肌で実感できる形でデータを取得し、その情報 を元にマーケティング施策を実現できるサービスの提供



主な戦略施策

- 1 顧客実感機能の拡充 (解約率低下)
- ・オンライン施策による顧客一人ひと りへの影響を見える化する独自機能の 充実(FY22)
- 3 コンサルティング強化 (顧客数増)
- ・コンサルを通じたマーケティング・ アクションの高度化(FY21)
- ・EC化率が低い業界や会員型サービス 業界への展開(FY22-23)

2	外部ツール連携によるプラット
2	フォーム化(契約単価上昇)

- LINEやSMS等の外部システム連携の 充実(FY21)
- ・顧客獲得~育成までの分析・アクションの機能強化 (FY22-23)
- 4 マーケティング強化 (顧客数増)
- ・ブランディング/認知向上のためのマーケティング施策の強化(FY22-24)

主要KPIの見込み	FY21 実績	FY22 計画	FY23-24 見込み
顧客数 ¹ (件)	297	319	やや増加
契約単価2 (千円)	357	370	ほぼ横ばい
解約率 ³ (%)	1.0	1.1	FY21並み

E1:各事業年度末の数値

注2:各事業年度の平均月額課金額を同期間の平均契約件数で除して計算した数値

顧客数

注3. 名声类左座中央网络不减小上去坐月亚拉网络全额左前月亚拉月药30000000 15数1

タレントパレット事業の成長戦略





「科学的人事」の方法論と機能を拡充しながら、HRの周辺分野へのサービス拡大を進め、新しい人材活用や働き方改革を推進する「人材情報プラットフォーム」の実現を目指す。

戦略コンセプト:科学的人事戦略

勘や経験に頼った人事戦略にデータ活用によるマーケ ティング視点を適用し、意思決定の精度向上の仕組み を提供

高▲ 戦略ターゲット •科学的人事機能拡充 人事情報を戦略活用する 意思決定支援プラット ビス活用度 フォーム化 ・人事領域の周 辺サービスへ の進出 現状ポジション ※37ページに ・社員情報(評価、スキル、 詳細説明 適性、モチベーション、 キャリア等) の一元管理 のプラットフォーム 顧客数

売上拡大施策を実行しつつ、人件費・広告販促費を適正にコントロールし、売上と利益の成長を同時に実現する方針

主な戦略施策

- 1 科学的人事の手法・機能の拡充 (解約率低下)
- ・コンサルを通じた新たな手法確
- ・スピード開発と幅広い人事アクションのカバー (FY22)
- 3 人事領域の周辺サービスへの進出 (顧客数増、契約単価上昇)
- ・データ分析結果を活用した実効性の 高いサービスの開発(FY22-23)

- 2 科学的人事の啓蒙・浸透 (解約率低下)
- ・科学的人事のノウハウ、事例などの 積極発信 (FY22)
- 4 戦略的マーケティング (顧客数増)
- ・ブランディング/認知向上のための施 策強化 (FY22-24)

主要KPIの見込み	FY21 実績	FY22 計画	FY23-24 見込み	
顧客数 ¹ (件)	700	950~970	大きく増加	
契約単価2 (千円)	352	373	上昇を継続	
 解約率 ³ (%)	0.4	0.7	FY22並み	

- E1: 各事業年度末の数値
- 注2:各事業年度の平均月額課金額を同期間の平均契約件数で除して計算した数値
- 注3:各事業年度中の解約で減少した当月平均解約金額を前月平均月額課金額で除した数値



プラスアルファ コンサルティング

各事業の計画進捗

FY2020 FY2021 FY2021 FY2022

実績

計画

計画

FY2020

実績

FY2021

実績

FY2022

計画

FY2020

実績

FY2021

実績

FY2022

計画

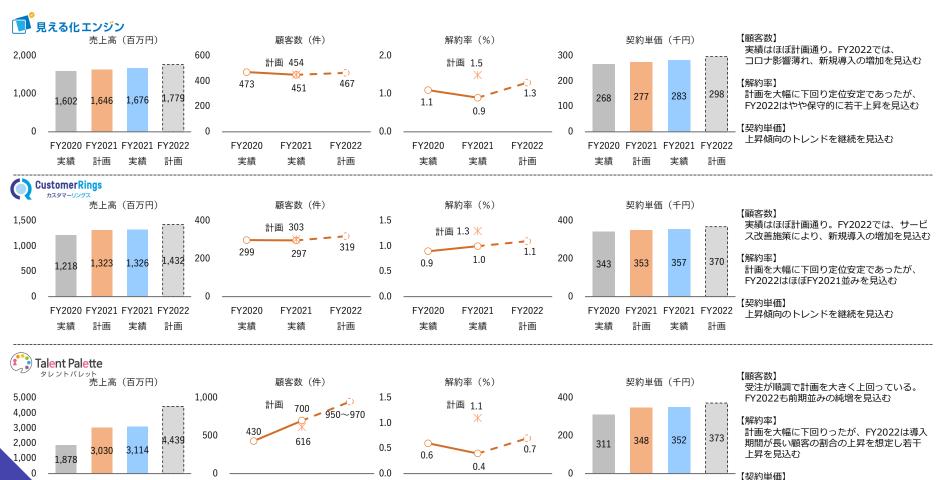
FY2020

FY2021 FY2021 FY2022

実績

計画

計画



上昇傾向のトレンドを継続を見込む



タレントパレット事業の中期展開 ~人事の周辺分野への進出~

タレントパレットに蓄積された人材データを活用して、精度の高い人事周辺サービスを実現

人材紹介・採用

自社で活躍する社員に 類似する人材をマッチング

研修・育成

社員の評価、スキル、適性に 最適な研修レコメンド

福利厚生・ イベント

組織の課題解決につながる 福利厚生等施策を提案

ヘルスケア

社員の健康チェックや勤務形態に 合わせた健康促進施策提案

様々な人材情報を組合せて最適化する、 新しいサブスクモデルへ事業拡大

Talent Palette

人材情報プラットフォーム (評価、スキル、適性、モチベーション、キャリア等)

労務管理

各種申請業務の効率化

周辺分野へのサービス拡大



解約防止、ARPU向上 新市場での顧客獲得



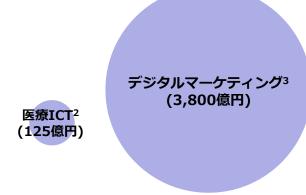
データ量

増加傾向

新規事業創出へのアプローチ ~ ビッグデータの「見える化」新領域~

ターゲットはデータ量は増えているが活用度が低く、勘や経験に頼っている業界 当社の強みであるビッグデータを見える化するサービスにて新たな事業を創造





- ✓ ビッグデータを「見える化」する 技術・ノウハウを活用できる領域
- ✓ データ量は増加しているが活用度 が低い業界

データ活用度 低 (勘と経験)



※2018年時点の市場規模

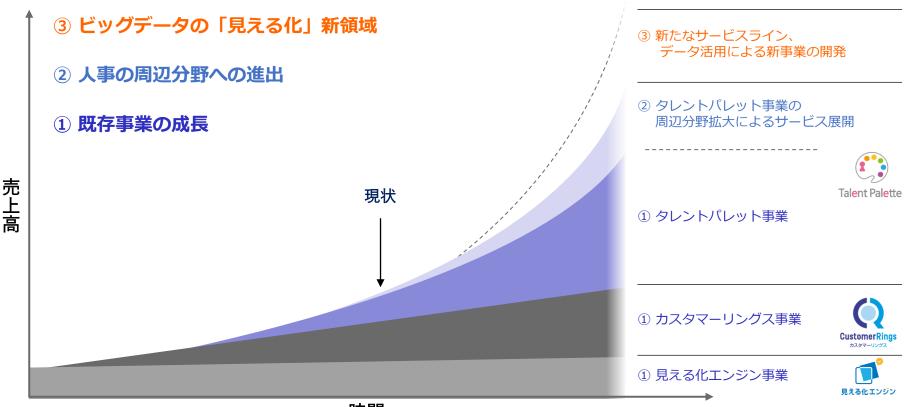
注1: アイ・ティ・アール「ERP市場20201

注4: 矢野経済研究所「2019 リーガルテックウォッチ」



既存事業拡大と新事業創出で継続的な成長を目指す。

3つの事業展開を組み合わせて継続的な成長を目指します。





III. Risk and Controls



主なリスク及び対応策



	主なリスク	発生可能性	影響度	対応策
市場動向について	当社が提供するSaaS型サービスは、企業規模を問わず高い需要が継続しておりますが、経済情勢や景気動向等が変化し、顧客企業の投資マインドが減退するような場合、当社の事業及び業績に影響を及ぼす可能性があります。	中期	中	複数の事業領域へ参入することにより、外部環境の 変動に強いビジネスモデルの構築を推進してまいり ます。
競合について	当社が事業展開する事業領域によっては、資金力、ブランド力を有する競合事業者が存在するほか、新規に参入者が出現する可能性があります。 これらの企業との競争が激化した場合、当社の事業及び業績に影響を及 ぼす可能性があります。	中期	大	独自の可視化技術の活用により顧客ニーズに合わせたサービスを展開するほか、これまでの経験・実 績及び社内ノウハウ等を強みとし差別化を図ってまいります。
技術革新への対応について	新技術の開発やそれに基づく新サービス導入の頻度が高い業界であり、 何らかの理由で技術革新への対応が遅れた場合、当社の競争力が低下 する可能性があります。また予定していない開発費等が発生した場合、当 社の事業及び業績に影響を及ぼす可能性があります。	中期	中	新しいトレンドに柔軟に対応していくため、最新の技 術動向や環境変化を把握できる体制を構築するほか、優秀な人材獲得や社員教育等に努めてまいりま す。
新規事業への投 資について	新事業開発を積極的に行っておりますが、安定収益を生み出すまでに一 定の投資が必要であり、利益率を低下させる可能性があります。また新規 事業が計画通りに推移せず、投資回収が十分にできない場合、当社の事 業及び業績に影響を及ぼす可能性があります。	長期	低	新規事業については市場動向を充分に観察・分析し、事業計画等を慎重に検討した上で実行判断をするほか、既存事業の収益とのバランスを勘案しながら、許容できるリスクについて判断してまいります。
システムトラブルについて	サービス基盤は社内外のネットワークやシステムに依存しており、災害や事故、アクセス増によるシステム負荷、大規模なプログラム障害などにより当社サービス運営に重大な影響が出る場合、信用度が著しく低下し、当社の事業及び業績に影響を及ぼす可能性があります。	短期	中	安定的なサービスの提供のため、サーバー設備の 増強や情報セキュリティの強化を行うなど、システム 管理体制を強化しております。
情報管理体制について	当社では、顧客企業の機密情報や個人情報を取り扱っており、重要な情報資産が外部に漏洩した場合、当社の社会的信用の失墜、損害賠償請求の発生等により、当社の事業及び業績に影響を与える可能性があります。	短期	大	ISMSやプライバシーマークを取得し、情報セキュリティに関する方針を定めており、その方針に従って情報資産を適切に管理、保護しております。



IV. Appendix







サービスの特徴

- デジタル時代のビッグデータ(顧客の声や行動)を瞬時に可視化
- 1.500社以上の活用実績がある導入シェアNo.1のツール
- 直感的に操作できる画面、操作のわかりやすさ
- 自由な発言、書き込みにも対応した高い精度の自然言語解技術

(%) ここがポイント!

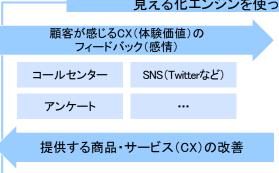
- TwitterなどのSNS、コールログ、アンケートまで膨大な量の顧客の声をテキ ストマイニングで分析
- 要望、不満、満足などの感情まで「見える化」
- ダッシュボード機能で顧客の声を起点とした全社的な改善活動までワンス トップで支援

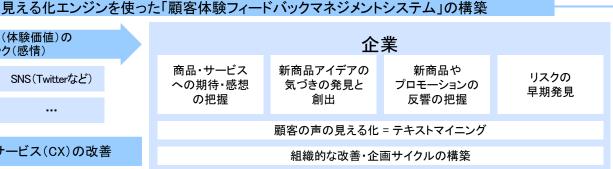
消費者の声をくみ取り、自社の体験価値(CX)を最大化できる「顧客体験フィードバックマネジメントシステム」

顧客

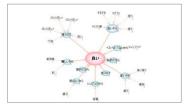
取り巻く環境の変化

- ■ニーズの多様化
- デジタル化
- ■ニューノーマル





顧客の想い・期待を見える化アウトプット(独自のテキストマイニング技術)



理由マップ(中心単語につながる要因を把握)



ニーズ抽出(感情が一目で分かる)

ワードクラウド(単語の出現頻度を把握)



特徴マップ(年代別の特徴を比較)

カスタマーリングスの特徴 CustomerRings カスタマーリングスの特徴 の CustomerRings





サービスの特徴

- 膨大な量の顧客情報や行動履歴を統合・分析し、顧客との最適なコミュニケー ションを実現するCRM/MAツール
- 直感的な操作性で思考を妨げないインタフェース
- メール、LINE、SMS、Web接客、アプリ通知、郵送DMなど、顧客に最適なチャ ネルとタイミングでのアプローチを実現

(%) ここがポイント!

- 顧客1人1人の行動や趣向をリアルに実感できる、多彩な分析機能やビジュ アル化された豊富なアウトプットにより、マーケティング施策の企画・実行を 支援
- ECや金融、店舗ビジネスなど、あらゆる業界・業種におけるデジタルマーケ ティング戦略に対応
- コンサルタントが戦略・分析を支援しサポート充実

ビッグデータから顧客を実感し、顧客と最適なコミュニケーションを自動化 デジタルマーケティング時代に必須となるマーケティングオートメーションシステム



自動化(ユーザの業務を、より考えるというクリエイティブな業務にシフト)

タレントパレットの特徴





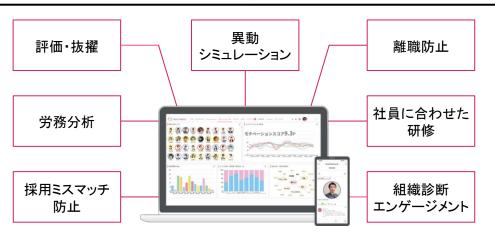
サービスの特徴

- 人材難時代を勝ち抜くデータに基づいた科学的人事戦略を実現
- 社員の最適配置や人材抜擢などで利用できる社員の見える化機能
- 採用業務の効率化、ミスマッチ防止、活躍度予測などの採用機能
- 社員のパフォーマンス分析やeラーニングなどの学習促進機能
- 離職者の分析・予測、モチベーション測定など離職防止機能

(%) ここがポイント!

- 弊社が得意とする、膨大な量の情報を分析するマーケティング思考を業界で初めてHR分野に応用
- データに基づいた最適配置、適正な評価、有望人材の発掘・採用強化、離職防止などの「科学的人事戦略」を実現する人材活用のプラットフォーム
- テキストマイニング技術により、社員の将来の希望や会社への要望などを 分析。活用できず眠っていた「社員の声」を経営に反映しやすく

マーケティング思考を取り入れた独自の科学的人事を実現



直感的に人材や組織の状態を見える化



経験と勘

X

社員情報の見える化

科学的人事戦略を実現 (データに基づいたクリエイティブな人事戦略)

将来見通しに関する注意事項



- 本発表において提供される資料ならびに情報は、いわゆる「見通し情報」(forward-looking statements)を含みます。
- これらは、現在における見込み、予測およびリスクを伴う想定に基づくものであり、実質的にこれらの記述とは 異なる結果を招き得る不確実性を含んでおります。
- それらリスクや不確実性には、国内外の経済情勢や当社の関連する業界動向等が含まれますがこれらに限られる ものではなく、また、事業環境および市場動向の分析等による競争力の維持・強化に努めておりますが、上記リ スクや不確実性を排除するものではありません。

「事業計画及び成長可能性に関する事項」の更新は、今後、本決算発表後に開示を行う予定です。 次回の更新は、2022年11月の決算発表後を予定しております。